

巻頭言



鹿児島県知事 三反園 訓

国際化と多文化共生の実現を目指して

鹿児島県は、我が国本土の最南端に位置し、成長著しいアジアに近接している地理的優位性があり、鉄砲やキリスト教の伝来、日本で最初の近代工場群の建設や薩摩藩英国留學生の派遣など、歴史的にも重要な役割を果たしてきた世界に開かれた県です。現在では、特に、香港、シンガポール、韓国の全羅北道、中国の江蘇省及び清華大学、英国のマンチェスター市及びロンドン・カムデン区、米国のジョージア州と交流事業を実施しており、経済、青少年、文化など幅広い分野で国際交流を展開しています。

また、県内の在留外国人数は、令和元年6月末現在 11,453 人であり、平成 30 年 12 月末からの半年間の増加率は 8.6%と全国第 1 位となっています。昨年 10 月には、ベトナムとの関係強化を図るため、交通の要衝として発展が見込まれるハイズオン省と人材や農業技術の交流等に関する連携協定を締結したことなどから、今後ますます在留外国人の増加が見込まれています。

このため、鹿児島県では、外国人が住みやすい多文化共生社会の実現に向けた取組を進めており、「外国人総合相談窓口」の開設や、モデル的な日本語・日本理解講座の開催にも取り組んでいます。また、県内の在留外国人の3分の1以上を占めるベトナムの方々のために、同国の旧正月を祝うテト・フェスタを開催し、楽しんでいただくなど、在留外国人の方々が鹿児島に来てよかった、住んでよかったと感じていただけるような取組も行っているところです。

今年4月には、国際社会に貢献する人材の育成や国際相互理解の促進のための拠点施設「かごしま国際交流センター」がオープンします。これを活用することにより、さらに国際交流と県民の多文化共生意識の醸成を進めていきます。

鹿児島県には、四季折々の豊かな自然、人口・面積で全国一の特色ある島々、豊富な温泉、個性ある歴史や文化、全国和牛能力共進会で日本一になった鹿児島黒牛をはじめとする安心・安全で美味しい「食」などの「健康・癒やし・長寿」に有益な地域資源「鹿児島のウェルネス」が豊富にあります。今後とも、国際化の一層の拡大に向け、国際交流・協力、貿易振興、観光振興を一体的に推進し、これらを国内外に効果的に発信して、農林水産物の貿易拡大、インバウンドの誘致などを図ることとしています。

人・モノ・情報の往来が活発化した現代のグローバル社会においても、幕末維新期の先人達のスピリットに学び、世界に誇る鹿児島のポテンシャルを生かしながら、国際化と多文化共生社会の実現を目指し取り組んでまいります。